

## 🖋️ ブラウンスイス、新ETシステムにて

先日、十勝管内のある農家さんで新ETシステムにて移植を行ってまいりました。ブラウンスイスへの移植はたまにあることなのですが、このときはET研から来た、ブラウンスイスだったのです。

このブラウンスイス、分娩当初は他の牛より小さかったのですが、現在2産して体も大きくなり、今では出口に居座りほかの牛にいたずらするほどになっているそうです。  
いじめられるよりはいいのかな……? (^o^;) 📊

この産次でちょっと世話がやける様子でしたので、今回の新ETで無事にとまり、また頑張ってくれよ〜!



# 02



## 🖋️ 授精後のオキシトシンの使用

先日、農家さんから、こういう質問を受けました。

「うち、搾乳の時に、パンパンに乳房はれてるのに、搾っても出ない奴がいるんだよね。そういう牛にはオキシトシン打ってるんだけど、全然とまんないの。授精する牛に、オキシトシン打っちゃダメなの?」

オキシトシンは通常、子宮収縮作用、射乳作用等があります。事実、過去の報告では、授精直後のオキシトシンの使用は早期の胚死滅につながる事が1999年6月号の雑誌「J.Prostaglandins」に報告されています。

オキシトシンは、子宮から血中および子宮内へのプロスタグランジンの放出を促し、ひどい場合は黄体の退行や子宮収縮によって受胎できなくなります。テネシー大学の試験では人工授精後5~8日に100IUのオキシトシンを1日3回注射した場合の受胎率は33%で、注射しない場合(80%)に比べて大きく低下しました。

よって、授精後少なくとも2週間はオキシトシンの注射はすべきではありません(雑誌:Dairy Herd Management、2000年12月号)。

搾りを優先させるか、授精を優先させるべきか、悩ましいところですね。🧪

# 03



### 新連載

## ET研究所ブログ便り

ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所(ET研)」。そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます!

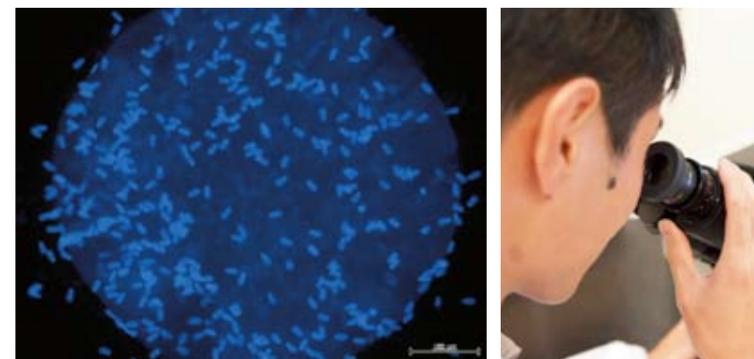


## 🖋️ モテキ

人生で3回あるといわれるモテキ(^ 3 ^)

まだ、一度も来ていない!!  
なんて人もいるのでは!?

いいえ、そんなことはありません。  
きっと一度は来ているのでは! 📊



これ(写真左)は卵子に多数の精子が群がっているところです。薄い青の大きな丸が卵子です。その上にある小さい楕円形が精子です。この画像だと300個以上の精子が集まっています。生体の中では何億、何十億もの精子が卵子を目指して泳いでいるのです。こんなにモテるなんて、きっと人生史上最高だと思います。(\*´▽`\*)

ちなみに「モテる」とは「もてはやされる」からきているそうです。📊  
なんでカタカナなんだろうか……。不思議。

# 01



ET研の「いま」がわかる「全農ET研ブログ」はコチラ→ <http://etken-blog.lekumo.biz/et/>  
※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます